



さむかわ

議会だより

第 215 号

令和7年8月1日

発行



サルスベリ(宮山)

4月会議
4月第2回会議
6月会議
7月会議

今号の主な内容

- 寒川町のこんなことが決まりました P 2
- 議員14人が町政を問う P 5
- 議会トピックス 注目の出来事 P13

● 4月・4月第2回・6月・7月会議 ●

寒川町のこんなことが決まりました。

4月会議	会議期間	4月 9日
4月第2回会議	会議期間	4月21日
6月会議	会議期間	6月 3日から6月20日
7月会議	会議期間	7月11日

4月・4月第2回・6月・7月会議の議案は

町長提出議案・・・・・・・・・・9件

陳情・・・・・・・・・・1件

今号ではこの中から
4つを

Pick up

※議案の会議録については、8月下旬にホームページに公開します。

Pick up

〈議案第38号〉

1

町内産後ケア施設の移転・新築に対し、 補助金を交付します

町が産後ケア事業を委託している町内の産後ケア施設について、町内での移転計画があることから、町として、町内における産後ケア事業の受け皿拡大と実施体制の強化を目的に、予算を追加するものです。

こんな質問がありました

❓ 新たに創設する補助金について、詳細は。

❏ 国の基準等を参考に、補助率4分の3、補助額2390万5千円を上限額として補助するものです。

❓ 移転・新築後は、事業規模や内容は拡大するのか。

❏ 新たな施設は個室の数が増える予定で、現状の産後ケアに加え、宿泊型の受け入れについても、体制を整えながら徐々に行っていく予定と聞いています。



2

人権擁護委員が決まりました

人権擁護委員の任期満了により、次の委員について適任としました。

委員が決まりました

●人権擁護委員 **いそ 磯 かわ 川 たけし 健 氏**

新任、任期3年(令和7年10月1日から令和10年9月30日まで)

3

新たな都市公園の区域を決定し、
建ぺい率の特例を定めました

都市公園法第33条第5項の規定により新たな都市公園を設置すべき区域を決定するとともに、都市公園法第4条第1項ただし書きの条例で定める範囲等を定めるため、提案されたものです。

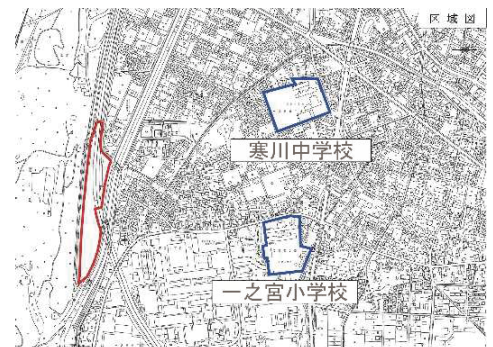
こんな質問がありました

Q 都市計画法に基づき、緑地から公園に都市計画変更してから整備すべきと考えるが、見解は。

A 本公園は最大の整備効果を狙って、都市計画法とは切り離し、都市公園法に基づく都市公園として整備を行うものです。

Q ストリートスポーツパークとしてだけでなく、多くの世代が集うことができる公園とすることについて、町の考えは。

A 豊かな景観が楽しめること、休憩・交流スペースがあることなど、老若男女問わず多くの世代が集う公園にしたいと考えています。



決定した都市公園の区域
(一之宮五丁目地内 河原橋付近)

Pick up

〈議案第43号〉

4

タブレット端末等を購入します

町立小学校および中学校で使用するタブレット端末等を購入します。

●取得物品一覧表

品 目	数 量	契約額
タブレット端末	2,535	129,386,400円
キーボード		
画面保護フィルム		
MDM (端末の集中管理用システム)		

令和7年第2回定例会 4月・4月第2回・6月・7月会議 審議結果

議案番号		議 案	会派名	自由 民主党		大志会				フォーラム 寒川			日本 共産党		公明党		さむかわ 未来会議			橋本 修一
			議決 結果	横手 旭	杉崎 隆之	福岡 正也	山上 秀樹	佐藤 一夫	茂内 久代	小泉 秀輔	廣田 淳生	柳田 遊	馬谷 原光織	青木 博	山田 政博	太田 真奈美	黒沢 善行	関口 光男	吉田 悟朗	
4月	36	令和7年度寒川町一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
4月 第2回	37	茅ヶ崎市消防署宮山出張所整備事業請負契約に係る変更契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
6月	38	令和7年度寒川町一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	-	○
	39	令和7年度寒川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	-	○
	40	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	○
	41	都市公園を設置すべき区域の決定	原案可決	○	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	-	○
	42	寒川町都市公園条例の一部改正	原案可決	○	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	-	○
	43	財産の取得	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	陳情 第9号	マイナ保険証の保有の有無にかかわらず、国民健康保険加入者全員に資格確認書を発行することを求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	-	●
7月	44	庁舎トイレ(本庁舎東側・別館・分庁舎)改修工事請負契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○

○：賛成 ●：反対 欠：欠席（岸本議長は、表決に加わりません。橋本議員は会派に属さない議員です。）

本会議・委員会の記録

本会議・委員会の記録を次の二次元コードからご覧いただけます。

本会議の記録



各委員会の記録



議案・陳情等の資料



一般質問

議員14人が町政を問う!

一般質問とは

皆さんの生活に関わる大切なことについて、町議会議員が町に対して質問を行うことです。二次元コードから一般質問の録画映像をご覧ください。スマートフォンやタブレットでご視聴ください。

- 1 橋本 修一 議員 P6
・インクルーシブ教育の現状と今後の展望について問う
・インクルーシブ公園の整備について問う
- 2 福岡 正也 議員 P6
・働きながらの子育て支援 保護者負担の軽減を
- 3 小泉 秀輔 議員 P7
・町有地活用で駐車場拡充と将来的な高校誘致の考えは
・マイナンバーカードとマイナ保険証について問う
- 4 横手 旭 議員 P7
・ヒューマン・リソース・マネジメントについて問う
- 5 佐藤 一夫 議員 P8
・あらゆる災害に備え充実した避難訓練の実施を
・自転車運転教育を徹底して自転車事故対策を図れ
- 6 茂内 久代 議員 P8
・病児・病後児保育事業の実現について問う
- 7 青木 博 議員 P9
・成年後見制度の現状と課題 誰もが安心できる社会へ
- 8 馬谷原光織 議員 P9
・公共施設移転後の跡地活用について問う
- 9 杉崎 隆之 議員 P10
・広域連携をさらに強化し住民サービスの向上を
- 10 山田 政博 議員 P10
・町民が安心して利用できる公園の設置を
・ストリートスポーツパーク整備は町民意見を反映せよ
- 11 廣田 淳生 議員 P11
・平時における多世代にわたる居場所づくりについて問う
・非常時における避難施設の環境改善について問う
- 12 太田真奈美 議員 P11
・健やかな命をつなぐプレコンセプションケアの推進を
- 13 黒沢 善行 議員 P12
・食育から考える地産地消でさらなる農業振興を
- 14 関口 光男 議員 P12
・小1の壁について町は対策を
・寒川駅北口周辺の今後について問う

インクルーシブ教育の現状と 今後の展望について問う



橋本 修一 議員



Q 通級指導教室の職員配置数に関する見解は。

A 法律により、子ども13人に対して教職員1人を配置するよう定められていますが、神奈川県では、子ども10人に対して教職員を1人配置しています。

Q 通常学級、通級指導教室、特別支援学級との連携や保護者への情報共有の課題と取り組みは。

A 今年度町内の小学校全校に通級指導教室が開設されたことにより、その担当教員と通常学級の担任が日常的に情報共有することが可能となりました。しかし学年行事や教材の購入など相互の連絡について、行き違いや連絡の不備がある現状も把握しています。今後連絡体制の整備を行い、児童生徒やその保護者が安心して学校生活を送れるよう、これからも努めます。

Q ふれあい教育支援員、特別支援学級補助員への研修状況は。

A ふれあい教育支援員は年に2回研修をしています。

特別支援学級補助員は、今年度から希望に応じて特別支援学級等担当者研修会に参加できます。

インクルーシブ公園の 整備について問う

Q 共に生きる社会を築くために公共空間として不可欠な存在となっているが、今後の整備の考えは。

A 新たな公園の設置や既存公園の改修に当たっては、町みどりの基本計画に示されているユニバーサルデザインおよびインクルーシブの視点を取り入れ、全ての方が共に利用しやすい公園の実現に向けて取り組んでいきたいと考えます。



一般質問で使用した議員作成資料より
(近隣市町村のインクルーシブ遊具)

働きながらの子育て支援 保護者負担の軽減を



福岡 正也 議員



Q 現在は働きながら子育てをしている家庭も多い。保護者に対する負担軽減や支援について町の考えは。

A 働きながらの子育て世帯への支援として、保育園や放課後児童クラブの確保提供量を第3期町子ども・子育て支援事業計画に定め、待機児童の解消に向けて取り組むとともに、ファミリー・サポート・センター事業の実施により、多様化する保育ニーズに対応した取り組みを行っています。

Q 集金袋での集金方法について、振り込み・口座引き落とし等への改善を図るべきと考えるが、町の認識は。

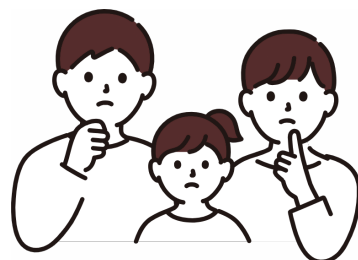
A 振込手数料の負担や振り込み忘れ、口座の残高不足等による未払い等の把握や再周知など、保護者や教職員への負担が増えることも考えられます。振り込みや口座引き落としは、メリットもデメリットもあるので、引き続き学校や関係機関と連携しながら検討していきます。

Q 学校からのお知らせについて、現在多くは紙での配布だが、デジタル化について町の考えは。

A 電子化できるものと紙媒体で配布するものとを精選することで、保護者はもちろんのこと教職員の負担軽減にもつながると考えます。

Q 保育園への布団持参について、保護者の負担軽減に向け町としてどのような支援等が可能と考えるか。

A 布団の管理については、施設運営をする上でそれぞれが最善の方法との考えの下、各施設において決められているものと考えます。まずは保育施設と保護者側とよく話し合っていくことが必要ではないかと考えます。



町有地活用で駐車場拡充と 将来的な高校誘致の考えは



小泉 秀輔 議員



❶ さむかわ中央公園の駐車場において、有料化や立体化の検討は。

❶ さむかわ中央公園駐車場の有料化案については、採算性の問題が明らかとなり、継続して検討を進める状況となっています。また駐車場の立体化については、現在のところその考えはありませんが、再整備や有料化の検討を進めていく中で、立体化の必要性が認められる場合には検討を進めることも考えられます。

❷ 施設再編後の寒川東中学校の跡地に、茅ヶ崎北陵高校を誘致することについて、町の考えは。

❶ 寒川東中学校の土地に関しては、その跡地利用が大きな課題となっており、町民からも注目される点であると認識しています。現時点においては、寒川東中学校の跡地利用に関する具



一般質問で使用了議員作成資料より

体的な方針は示すことができていませんが、高校誘致に関しても一つの選択肢となり得る活用方法ではないかと考えています。

マイナンバーカードと マイナ保険証について問う

❶ 町はどのようにマイナ保険証への不安の声に対応しているのか。

❶ マイナンバーカードの使用について不安な方や要配慮者の方など、介護や多様な事情を抱える方への対応としては、マイナ保険証の解除申請や要配慮者への資格確認書の併用発行を、保険証が廃止された12月2日から窓口対応やホームページでの啓発に努め、被保険者の事情に寄り添い事務を進めています。

ヒューマン・リソース・ マネジメントについて問う



横手 旭 議員



❶ 人材の採用および育成・活用に関する町の基本的な考え方、および現状抱えている「課題」と「問題」について問う。

❶ 職員採用については、現状、必要十分な人員が確保できているとは言えず、引き続きさまざまな検討が必要と考えています。また、人材育成・活用については、一人一人の成長を促し、さらに職員相互に連携し、チームとして成果を上げ、組織風土を次世代につなげることが理想と考えています。町においても、ヒューマン・リソース・マネジメントに基づき職員を単なる労働力ではなく、施策実現のために必要不可欠な資源と捉え、個々の職員が成長を実感できる環境が重要と考えています。現在、人材育成基本方針の策定を進めています。採用・研修・評価などを互いに関連させ、一貫性を持ちつつ戦略的な人材マネジメントを進め、町民サービス向上に貢献できるよう取り組みます。

❶ 多数のタテ型ショート動画をメインコンテンツに、スマートフォンをメインデバイスとしたリクルーティング専用サイトの構築を提案するが、町の見解は。

❶ 現在、町ホームページには職員採用のページがあり、先輩職員の声や保健師向けの動画はありますが、しばらくレイアウトなどの更新はされていない状況です。スマートフォン向けのタテ型動画をメインコンテンツとした専用サイトについては、就職を考える若者世代への働きかけとして大変有効だと感じるため、実施に向け検討します。



一般質問で使用了議員作成資料より

あらゆる災害に備え 充実した避難訓練の実施を



佐藤 一夫 議員



Q 役場庁舎以外の公共施設では、地震発生時を想定して利用者の避難訓練を実施しているのか。

A 町民センターでは令和6年10月に、公民館事業の神奈川県警音楽隊による避難訓練コンサートと兼ねて実施し、来場者207名が参加しました。訓練の内容としては、町民センターホールでの演奏会開催中の地震発生を想定し、自席で身を守る基本行動とシェイクアウト訓練を実施しました。

Q 巨大地震を想定し、全庁での避難訓練が必要では。

A 定期的に災害発生に備えた訓練も必要と考えます。体制を整え、町民の皆さまと共に情報の共有を図りながら、内容の見直しも常に図っていきたいと思います。

自転車運転教育を徹底して 自転車事故対策を図れ

Q 町内における自転車事故発生件数の推移は。

※地震の際の安全確保行動訓練のこと

A 令和2年が33件、令和3年が49件、令和4年が47件、令和5年が47件、令和6年が48件です。交通事故発生件数に占める自転車に関する交通事故の割合は30.8%で、県内の事故発生件数に対する24.1%を大きく上回っていることから、自転車交通事故多発地域に指定されています。

Q ルールを遵守していくために、自転車運転者に向けた講習会を計画的・定期的に実施すべきでは。

A さむかわ出前講座のメニューとして、交通安全講座を実施しています。また、茅ヶ崎警察署より、講師として警察官の派遣もできるので、活用していただければと思います。



病児・病後児保育の実現について 問う



茂内 久代 議員



Q 第3期町子ども・子育て支援事業計画にある本事業は、町民に向けて明確になっていないと思われるが、今後どのような考えで進めていくのか。

A 近年、さまざまな事情により、夫婦共働きや保護者1人で働きながら子育てをする家庭が増えており、中には、子どもが病気でも職場の都合等で休みを取ることが難しいご家庭もあります。本来、保護者が気兼ねなく休みを取れる環境が望ましいですが、休みが取れないご家庭にとっては、病児・病後児保育施設の利用が、子育ての安心につながると考えます。

Q 町は、病児保育施設の県内カバー率81.1%に含まれていない。保護者からのニーズがあるため、近隣市との連携や協定を結び、町内で取り組む前に先行実施してはどうか。

A 町民のニーズや県内自治体の実施状況を踏まえ、令和9年度からの実施を計画に位置付け、調整を進め

ています。近隣市との広域連携等は相互利用の形式でないと困難であるため、まずは町内で実施し、その後の状況をよく把握した上で研究します。

Q 本事業は、町の魅力や子育てしやすさの向上、人口増、経済発展にもつながると考えるが、町の見解は。

A 病児保育施設の県内カバー率が非常に高いため、懸案事項と認識し、事業実施に向けて取り組みを進めています。この事業が開始されれば、より一層の子育て世代の不安解消にもつながり、人口増へも寄与できると考えます。事業を実施する意向・意思を示されている事業者や関係者とよく調整し進めます。



成年後見制度の現状と課題 誰もが安心できる社会へ



青木 博 議員



Q 町が実施している「成年後見制度利用支援事業」はどのような事業か。

A 収入および資産等の状況により、成年後見等開始審判申立てに要する費用および成年後見人等の報酬を負担することが困難な方に対して、全部または一部を助成するものです。

Q 6年前「実施予定はない」と答弁があった「市民後見人養成事業」について、現在実施に向けた町の考えは。

A 現在の町における成年後見制度の利用状況を踏まえ、まずは本制度の周知、理解啓発を進めることに注力すべきと考えています。

Q 認知度が低い成年後見制度について、町が現在行っている周知活動の内容は。

A 神奈川県が作成したパンフレットを各窓口でお渡しできるよう備えています。また、本制度が必要な方

が適切に利用できるようになることを目的に、年1回、専門職による成年後見講座を開催しています。さらに、成年後見制度利用促進基本計画を策定し、認知度の向上を目指した周知活動に取り組んでいます。

Q 今後、需要の増加が見込まれる成年後見制度に対し、町としてどのように取り組んでいくのか。

A 町社会福祉協議会と連携し、あらゆる機会を通じて町民の皆さまにとって身近な制度になるよう、広く周知、理解啓発を進めます。また、権利擁護支援を必要とする方に対する適切な支援へつなげていくために、地域連携ネットワークの構築に向けた検討を行います。



公共施設移転後の 跡地活用について問う



馬谷原 光織 議員



Q 公共施設の移転や統廃合が決定した際には、その後の活用計画や選択肢を町民に提示し、町民の合意を得ながら活用を進めるべきであるが、町の考えは。

A 跡地の利活用、売却等をする際には、事前に議会への報告をはじめ、町民の皆さまへ町の方針を説明し、ご意見をいただきながら進めていきたいと考えます。

Q 公共施設跡地活用の具体的な事例として、今後、健康管理センター跡地と茅ヶ崎市消防署寒川分署跡地の活用が考えられるが、町の考えを問う。

A 現行の健康管理センターは、太陽光発電設備や、蓄電設備が備わっているため、町地域防災計画においては、災害時の救護所の拠点として、医療救護体制構築のための情報収集、伝達などの機能が位置付けられており、代替施設の完成後も、その機能は存続する予定となっています。そのため、代替施設の供用開始後も、当面の間、現行の健康管理センターの建物は取り

壊さず、平時の建物の有効活用については、関係課と検討を進めています。

寒川分署については、消防隊と救急隊が2隊ずつ配置されておりますが、宮山出張所が整備されると、寒川分署と宮山出張所それぞれに1隊ずつ配備される予定です。なお、寒川分署は、茅ヶ崎市寒川町広域消防運営計画の中で、令和13年度までに、町南部地域への移転を予定しており、移転が完了した場合、現在の寒川分署は消防施設として使用しない施設となる予定です。



現行の町健康管理センター

広域連携をさらに強化し 住民サービスの向上を

Q 茅ヶ崎市とは、これまでさまざまな分野での広域連携が行われてきた。今後はさらに深い連携が求められるが、現在検討している新たな連携事項は。

A 今後、茅ヶ崎市との間で検討の可能性がある新たな連携分野として、子育て支援分野が考えられます。検討にあたっては、住民サービスの向上、事務の効率化および市町相互の組織強化を念頭に、互いの強みを生かした実効性のある連携を目指していきます。

Q 子育て支援分野の連携として、保育施設の相互利用の促進や保育士の合同研修の実施などにより、市町の保育園連携を強化することは考えられないか。

A 他自治体の保育施設へ入所を希望する場合の入所要件がなくても相互利用が可能となれば、待機児童の解消などにつながる可能性があります。一方、相互利用のために入所審査基準を見直した場合、現状入所できるケースが入所できなくなる可能性があるなど、慎重な検討も必要です。



杉崎 隆之 議員



また保育士の合同研修が実現できれば、双方の保育の質向上につながると考えます。

いずれにしても、それぞれの自治体にとってメリットがあれば実現も可能と考えますので、まずは協議を行い検討していくことが必要であると考えています。

Q 都市未来拠点の整備が控える中、海老名市との広域連携が今後重要になるが、町の考えは。

A 都市未来拠点の整備を見据えて、より広範な分野での連携を模索しています。海老名市との広域連携を深めることで、町全体の活性化につなげていきたいと考えています。



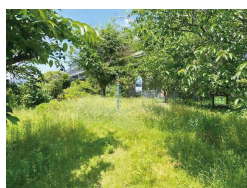
町民が安心して 利用できる公園の設置を

Q 公園の遊具管理や除草の状況について問う。

A 全ての遊具について、専門の事業者が年1回の定期点検を実施し、危険度が高い場合、修繕をしています。また、職員でも日常点検を目視でしています。除草については、各公園で定期的に実施しています。

Q 子育て世帯の方から、近所に歩いて行ける公園が欲しいと要望が寄せられるが、公園の増設予定は。

A 一之宮5丁目地内に（仮称）相模川一之宮公園整備を計画していますが、それ以外に整備の予定はありません。



倉見逸入緑地



山田 政博 議員



A 令和2年度当初予算において、（仮称）寒川町フラットパーク建設を予定しましたが、コロナ禍のため、建設延期の判断をしました。そして、このたび候補地が見つかったので、整備に対する基本構想や基本計画を取りまとめ、パブコメや町民説明会を実施しました。

Q 予定地は災害時の被害が起きやすいと思うが、町の見解は。

A 建築想定箇所は、相模川および目久尻川の洪水浸水想定区域図や浸水のハザードマップ上においても、浸水しないエリアということが示されています。

Q 本計画の周知が足りないと思うが、町の見解は。

A パブコメの意見を踏まえ、今後公募選定が予定されている事業者等からの提案を含め、分かりやすい周知をしていきます。

ストリートスポーツパーク整備は 町民意見を反映せよ

Q ストリートスポーツパーク整備の経緯を問う。

平時における多世代にわたる 居場所づくりについて問う



廣田 淳生 議員



Q 公園、その他公共空間、空き家などを活用した集い、楽しみ、憩いそして安らげる世代間交流もできる居場所づくりについて、町の考え方は。

A 町では、多世代が集い交流できる地域の居場所としてご利用いただけるよう、公共施設の整備、維持管理に努めています。特にさむかわ中央公園では、公園内の築山から美しい富士山などの景色を楽しめること、また遊具で楽しむ子どもたちの姿や高齢者の方がお孫さんとともに穏やかなひとときを過ごしている様子を目にすることができることから、地域における居場所の重要性を改めて実感しています。このような公共空間を通じて、多世代が交流し地域の絆を深める場を提供できるよう、引き続き努めていきます。空き家改築の事例(長野県安曇野市)



非常時における避難施設の 環境改善について問う

Q 国際的なガイドラインであるスフィア基準に則した、非常時・災害時において安全に、安心し、尊厳をもって難を逃れることができる避難環境等の改善や支援策について、町の見解は。

A スフィア基準は避難者が必要とする基本的ニーズの最低限の要件を示しており、町でも自然災害やその他の緊急事態に備え、避難施設の環境改善に努めています。特に、快適な生活空間の確保、プライバシーや安全性への配慮、清潔で安全な飲料水の供給等を優先事項として取り組んでいきます。なお各避難所の備蓄品は、まだ計画数量に満たないものもありますが、順次整えていく予定です。今後もスフィア基準を指針として、町としてできることから取り組んでいきます。

健やかな命をつなぐ プレコンセプションケアの推進を



太田 真奈美 議員



Q プレコンセプションケアは将来の妊娠を考えながら女性やカップルが自分たちの健康や生活習慣を見直し、より良い状態を整えるためのケアのことであるが、町の認識と重要性について伺う。

A 近年、我が国では晩婚化や出産年齢の上昇、低体重児出生の割合の増加などが課題となっており、将来の妊娠や体の変化に備えて、自分の健康やライフプランを考えるためにプレコンセプションケアの重要性が増しているものと認識しています。

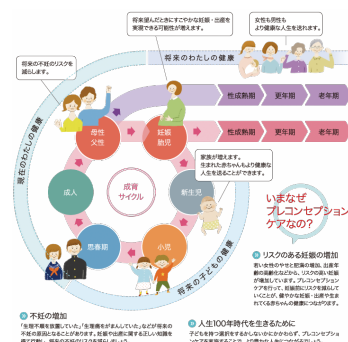
Q ホームページやチラシ・チェックシートの活用など、普及啓発の取り組みの考えは。

A 県や国立成育医療研究センターのホームページも参考にし、また、それぞれのページへリンクも張らせていただきながら、町独自のホームページとしての作成を検討していきます。

Q 健康づくりや教育の観点からも必要な取り組みに

ついて、各部門の考えは。

A 健康づくりにおいて、今後、セミナーや教室、新たな講習会の実施に当たっては、プレコンセプションケアの考え方を取り入れた教室等を検討し、併せてホームページやLINEなどを活用して普及啓発を図っていきます。教育委員会としては、現在行っている健康教育やいのちの教育にプレコンセプションケア等の新たな知識や健康課題を関連づけるとともに、専門の講師を招いた講演会や体験学習は、児童・生徒にとって新たな学びや学びの広がり・深まりが期待できることから、専門性を持つ人材の学校への周知に努めます。



食育から考える地産地消で さらなる農業振興を



黒沢 善行 議員



Q 農業振興には各地域での取り組みが重要と考えるが、これまで町は、農業振興、新規営農者獲得、地産地消のためにどのような施策を行ってきたか。

A 農業振興施策として、農業振興に関する補助金などにより、生産性の向上や農業経営の安定化に向けた支援を行っています。

また、新規就農者受け入れ支援体制の統一化と農地情報の共有化について、藤沢市、茅ヶ崎市との2市1町間で協定を締結し、農地のマッチングや営農の計画書に基づく審査等を行っています。

食育の取り組みについては、保育園児によるサツマイモの苗植えと収穫、学校給食にも大きく関わる地産地消事業、貴重な資源としての遊休農地活用事業や家庭菜園事業など、行政の取り組みとして位置付け、計画的に推進しています。

Q 先日、地産地消へ先進的に取り組んでいる、石川

県白山市を視察させていただいた。白山市では農業振興は食育からスタートするとの考えからさまざまな取り組みを行っている。町でも今後の農業振興を考えると、新たな観点も必要と思うが、町の見解は。

A 町農業には、その立地から消費者に非常に近いという特性があり、消費者との信頼関係が図られることは、食育の推進、地産地消、町農産物の消費拡大につながると考えています。

現在、(仮称)農業ビジョンを策定する中で、生産者へのヒアリングを予定しており、消費者とのコミュニケーションの図り方や信頼関係の構築などのお考えを伺いながら、検討を進めていきたいと考えています。



白山市ホームページより

小1の壁について町は対策を



関口 光男 議員



※
Q 小1の壁により、朝早く登校する必要のある児童について、町は把握しているか。

A 調査等は行っていないため、人数の把握はしていませんが、児童クラブの在籍児童および待機児童限定でその数を推計すると33人が該当するため、少なからず存在すると推測しています。

Q 小1の壁を取り外すため、安心して朝7時から8時までの時間を過ごせる場をつくることについて、町の見解は。

A 町としても、朝の見守りの必要性は十分認識しています。働きながら子育てをする保護者が、不安を抱えながら小学校入学を迎えることのないよう何らかの支援が必要と考えています。教育委員会および学校と連携し、検討します。



寒川駅北口周辺の 今後について問う

Q 歩行者利便増進道路、通称ほこみちの活用について、町の見解は。

A 駅周辺周辺の購買力等のデータ分析からも可能性があり、地域経済活性化や住民同士の交流の場の創出につながると考えます。一方、近隣住民や事業者への影響など、さまざまな課題もあると捉えています。

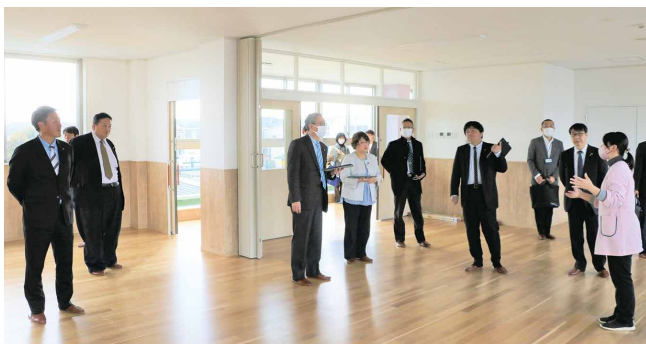
Q 区画整理事業が終わり、多くの人に魅力的な場所となるよう今後どのように取り組んでいくのか。

A にぎわいが生まれることで、経済活動活性化や地域コミュニティの強化につながると捉えています。今後、さらに検討を重ね、民間団体や地域住民などの二一ズに広えられるよう体制整備を進めていきます。

※保育所は午前7時台からだ、小学校登校は8時以降であり、登校時間と保護者の出勤時間のずれによって、その間の子どもの居場所がないなど、小学校入学を機に共働き家庭が直面する仕事と子育ての両立の難しさのこと

倉見幼稚園を現地踏査しました

文教福祉常任委員会では3月17日(月)、令和7年4月から認定こども園として開園予定の倉見幼稚園を現地踏査しました。



寒川町議会アドバイザーを委嘱しました

町議会では5月12日(月)、これまでも議会改革に関する研修等の講師としてご協力いただいていた、高橋一之さんに寒川町議会アドバイザーを委嘱しました。

【業務の内容】

- (1) 議会改革等議会活性化に関する助言、指導等を行うこと
- (2) 議会業務全般に関する助言、指導等を行うこと
- (3) その他議長が必要と認めたこと

【委嘱期間】

令和7年5月12日から令和8年3月31日まで



町議会基本条例に関する研修会を開催しました

町議会では5月12日(月)、町議会基本条例の規定に基づき、町議会基本条例の理念を浸透させることを目的に、町議会アドバイザー高橋さんを講師に招いて研修会を開催しました。



令和6年度政務活動費収支報告

町議会ホームページでは、報告書および政務活動記録簿等を公開しています。
二次元コードから、ご覧ください。



▲政務活動費
公開HP

【令和6年4月から令和7年2月分】

(単位：円)

会派名等	人数	交付額	科目							返還額 (交付額-支出合計)
			研究研修費	調査費	資料作成費	資料購入費	事務費	その他の経費	合 計	
さむかわ自民党	4	880,000	28,812	0	8,063	0	298,650	770	336,295	543,705
大志会	4	880,000	28,812	155,270	7,988	0	74,800	0	266,870	613,130
フォーラム寒川	2	440,000	53,266	100,590	4,904	234,314	37,400	885	431,359	8,641
日本共産党	2	440,000	45,574	100,590	4,034	86,580	130,367	1,200	368,345	71,655
公明党	3	660,000	21,609	170,837	7,686	60,553	376,172	2,140	638,997	21,003
小泉 秀輔	-	220,000	7,203	50,310	1,982	49,210	18,700	0	127,405	92,595
橋本 修一	-	220,000	7,203	50,310	2,257	38,500	33,319	0	131,589	88,411
合 計	17	3,740,000	192,479	627,907	36,914	469,157	969,408	4,995	2,300,860	1,439,140

【令和7年3月分】

(単位：円)

会派名等	人数	交付額	科目							返還額 (交付額-支出合計)
			研究研修費	調査費	資料作成費	資料購入費	事務費	その他の経費	合 計	
自由民主党	2	40,000	0	0	55	0	5,000	0	5,055	34,945
大志会	5	100,000	0	0	30	0	78,500	0	78,530	21,470
フォーラム寒川	3	60,000	0	0	625	9,495	49,372	0	59,492	508
日本共産党	2	40,000	0	0	165	0	38,880	0	39,045	955
公明党	3	60,000	0	0	210	8,396	49,223	770	58,599	1,401
さむかわ未来会議	2	40,000	0	0	0	0	31,400	0	31,400	8,600
橋本修一	-	20,000	0	0	125	3,500	15,700	0	19,325	675
合 計	18	360,000	0	0	1,210	21,391	268,075	770	291,446	68,554

ひまわり教室を現地踏査しました

文教福祉常任委員会では6月20日(金)、町が運営する児童発達支援事業所であるひまわり教室を現地踏査し、意見交換を行いました。



寒川建設業協会と懇談会を行いました

建設経済常任委員会では6月26日(木)、寒川建設業協会と懇談会を行いました。

<議 題>

- ①寒川町職員と協会の工事施工技術向上に向けた研修について
- ②寒川町の公共工事予算拡大について
- ③町内の土木・建築・造園等工事の地域事業者への優先発注の推進について



町のごみ焼却灰搬入先の新日本電工株式会社と千葉産業クリーン株式会社を現地踏査しました

建設経済常任委員会では7月2日(水)、焼却灰の資源化を委託している新日本電工株式会社鹿島工場(茨城県鹿嶋市)と、焼却灰の埋め立てを委託している千葉産業クリーン株式会社(千葉県銚子市)を現地踏査しました。



新日本電工株式会社鹿島工場



千葉産業クリーン株式会社

県藤沢土木事務所に要請訪問しました

建設経済常任委員会では、町内における道路事業および河川事業関係の要請を行うため、7月8日(火)に県藤沢土木事務所に要請訪問しました。要請内容は次のとおりです。

- ①県道410号湘南台大神伊勢原の整備促進について
- ②都市計画道路中海岸寒川線(中瀬交差点以東)に関連する課題解決に向けた協力について
- ③小出川の河川改修について
- ④目久尻川の雨水対策について
- ⑤さがみグリーンラインの整備促進について



予告

寒川町議会 ユーストークcafé

本年度も開催を予定しています！
開催日やイベント内容などが決まり次第、お知らせしますので楽しみにお待ちください！

昨年の様子は
こちらから



議会を傍聴しませんか

傍聴は、当日受付していただければ、どなたでもできます。

町議会のホームページでも、会議の日程や議会の傍聴案内、請願や陳情の手続き、議員名簿等が閲覧できます。

ご不明な点は、議会事務局へお問い合わせください。

●議会事務局総務担当 TEL0467-74-1111
(内)341・342

インターネット
中継はこちらから



9月会議日程

日	月	火	水	木	金	土
8/24	25	26	27	28	29	30
		本会議 (議案上程等)		本会議 (議案質疑等)	総務常任 委員会	
31	9/1	2	3	4	5	6
	文教福祉 常任委員会	建設経済 常任委員会		都市未来拠点・新幹線 新駅対策特 別委員会 公共施設再 編整備対策 特別委員会		
7	8	9	10	11	12	13
	本会議 (一般質問)				決算 特別委員会	
14	15	16	17	18	19	20
		決算特別委員会				
21	22	23	24	25	26	27
	決算 特別委員会			本会議 (委員長報告等)		

午前9時開会(会議の日程等は変更になる場合があります)
※9月4日(木) 公共施設再編整備対策特別委員会は午後1時15分開会
※9月25日(木) 本会議は午前10時開会

ぎ かい 議会ラボ #6

#5のおさらいクイズ！

まちぎかいぎいん にんき ぎいん
町議会議員の任期(議員と
して働く期間)は何年間で
しょうか。

- ①2年 ②4年 ③6年

ヒントは議会ラボ
#5にあるよ！



ぎ かい 議会ってなあに？

ぎ かい おも し こと 議会の主な仕事って？

ぎ かい まち き じょうれい
議会は、町の決まりである条例
を新しく作りたい、一部を変更し
たいなど、町長からの提案に対し
て、主に賛成(可決)・反対(否決)
などの意思を決定します。これを
「議決」といいます。